

プレゼンテーション  
現代の作品 そのXLII(42)

# PRESENTATION

- 小川 類 Virelay for Solo Violin (2013/2015改訂)  
Violin 山縣郁音
- 加藤真一郎 Aspiration for Saxophone and Piano (2015初演)  
Saxophone 大石将紀 Piano 末永匡
- 武澤陽介 デュナミス (2015初演)  
Horn 藤田麻理絵 Piano 武澤陽介
- 寺内園生 祈り (2015初演)  
Piano 久元祐子
- 藤田耕平 ヴァイオリンとピアノのための「白鳥」(2009)  
Violin 恵藤久美子 Piano 中野洋子
- 森山智宏 Secret Couple III (初演)  
Cello 福崎茉莉子 Drums 齋藤綾乃
- 山口恭子 Tract (2015初演)  
Soprano 松島理紗 Alto 新宅かなで Tenor 今井学 Bass 寺西一真
- J.S.バッハ 《平均律曲集》第1巻より 変口短調 BWV867  
Piano 末永匡
- 「Ach wie flüchtig, ach wie nichtig」  
「O Gott, du frommer Gott」(Vierstimmige Choraleより)  
Soprano 松島理紗 Alto 新宅かなで Tenor 今井学 Bass 寺西一真

(演奏曲順未定)

日時 2014.6.10(水) 19:00 開演 (18:30開場)  
会場 杉並公会堂小ホール  
主催 音楽文化協議会  
後援 日本作曲家協議会  
一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会

チケット 3,000円 (学生1,000円)  
日本作曲家協議会会員の方は、  
当日、会員証を受付にてご提示の  
上、無料でご入場頂けます。  
お問い合わせ presen42@yahoo.co.jp

「プレゼンテーション」の第1回演奏会は、1968年、「日本現代歌曲の夕べ」として東京で開かれ、松平頼則、松葉良、石井五郎、伊藤隆太、塚谷晃弘などの作品が歌われた。彼らは、日本の伝統的語法を生きし現代的感覚をもつ音楽を作曲したいと考え、その後、ほぼ毎年、新作を発表し、新しいメンバーを迎え、今回で第42回を迎えた。これほど長く続いている作曲家のグループも珍しい。「プレゼンテーション」を主催する作曲家たちは、多様な手法を試みている欧米、特に東欧の作曲家たちとの交流を通して、彼らの作品を日本に紹介し、第38回では、台湾の作曲家の作品の日本初演も行った。前回から、山口恭子、武澤陽介の2名が、また今回から小川類が同人として参加し、会のさらなる活動の展望を期待したい。今回は初の試みとして、同人の作品と一緒に、J.S.Bachの作品を並べて演奏し、新たな方向性を模索する。

## 作曲家プロフィール

### 小川 類 OGAWA Rui

日本大学芸術学部大学院修了。修了時に湯川制賞を受賞。CM、アニメ、J.pop、映画音楽、現代音楽、エレクトロニカなど多分野で活動している。ACL アジア音楽祭 2013(シンガポール)、2014(横浜・東京)、ISCM 世界音楽の日々 2011(ザグレブ)、ブルジュ国際電子音楽祭(仏)、電子音楽ミッドウエスト(米)、ロゴス・ファンデーション(ベルギー)などで作品を発表。全音楽譜出版社より編曲楽譜集を多数出版。日本大学芸術学部音楽学科非常勤講師。

### 加藤 真一郎 KATO Shinichiro

1978年生まれ。桐朋学園大学卒業、同大学研究科修了(作曲専攻)。ロストック音楽大学、ミュンヘン音楽大学ピアノデュオ科修了。文化庁在外研修員としてA・コンタルスキー教授のもとでピアノデュオの研鑽を積む。マレイドラノフ国際2台ピアノコンクールで日本人デュオ初となる第1位受賞。以来、国内外での演奏、NHKなどへの放送出演、都響、東フィル、京響との協奏曲の共演。第13回芥川作曲賞ノミネート。作曲を安良岡章夫氏に師事。現在、国立音楽大学、桐朋学園大学、東京藝術大学非常勤講師。

<http://www.seokato.com/>

### 武澤 陽介 TAKEZAWA Yosuke

千葉県出身。東京藝術大学音楽学部作曲科を経て同大学院を修了。管弦楽曲「カントゥス・フィルムス」が藝大フィルハーモニアにより演奏される。アカンサス音楽賞を2度受賞。作曲を尾高惇忠、高橋裕原田敬子、ピアノを長尾洋史の各氏に師事。平成26年度まで桐朋学園大学非常勤講師。現在、上野学園高等学校音楽科講師。

### 寺内 園生 TERAUCHI Sonoh

ピアノを中野洋子と伊達純に、作曲と和声を寺内昭、川井学に学ぶ。寺内は1959年千葉に生まれ、高校卒業後渡独し、マリアフンク女史に作曲法を学んだ。代表作には、既出版のピアノ曲集「めざめ・静かな風」など、デリケートな感覚と想像力豊かな抒情的作品がある。ヴァイオリン・ソロ曲「アクティヴ」は、1999年2月にNHK・FMより放送され、弦楽四重奏曲「ナルシス」は、2010年5月にオペラ・ベルリンで演奏された。

### 藤田 耕平 FUJITA Kohei

1945年横浜に生まれる。東京芸術大学に在学中作曲を池内友次郎氏、諸井誠氏ピアノを金澤希伊子氏に学ぶ。1979年にはソプラノとピアノのための「白鳥」がヴィオッティ国際作曲コンクールにおいて1位、2位なしの3位に入賞。1985年には「黙示」がサンフランシスコにおいておこなわれた現代音楽週間にてケント、ナガノ氏の指揮により演奏されるとともにNHKFMにより放送された。1996年にはオーボエとオンドマルトノ、弦楽合奏のための「時は雨のように・・・」2000年にはピアノのための「Far away」がそれぞれNHK FMにより放送された。ピアノの「風の道」は『日本・チエコ交流2003』においてピアノのための「雪女」が2004年におこなわれたドヴォルジャークの没後100年にあわせてプラハとネラホゼベスにおいて演奏された。そのほか多数の校歌や市民のためのオーケストラによる合唱曲等作曲し演奏されている。同時に40年余高校教育に携わってきた。

### 森山 智宏 MORIYAMA Tomohiro

1977年生まれ。桐朋学園大学音楽学部研究科作曲専攻修了。作曲を北爪道夫、飯沼信義、鈴木輝昭、ピアノ・作曲を間宮芳生の各氏に師事。第68回日本音楽コンクール作曲部門入選。第17回奏楽堂日本歌曲コンクール(一般の部)第1位。フルーティスト間部令子氏、ピアノデュオ瀬尾久仁&加藤真一郎、東京混声合唱団、日本演奏連盟、指揮者山田和樹氏等より委嘱を受け、国内外で作品を発表。現在、桐朋学園音楽部門の専任教員として勤務する。日本作曲家協会会員。全日本ピアノ指導者協会正会員。

### 山口 恭子 YAMAGUCHI Kyoko

桐朋学園大学音楽学部作曲理論学科作曲専攻卒業、同大学研究科修了。これまでに作曲を三瀬和朗、金子仁美、小鍛冶邦隆の各氏に、ピアノを林達也に師事。第72回、76回日本音楽コンクール作曲部門第3位入賞、岩谷賞受賞。招待作曲家として第18回武生国際音楽祭に参加、武生作曲賞入選等。作品はこれまで、広島HAPPY NEW EAR、Tokyo to New York、Nuovo Virtuoso、OTOの会等様々な機会で開催されている。桐朋学園大学音楽学部、東京芸術大学、桐朋学園大学音楽学部附属子供のための音楽教室、非常勤講師。